

地域産業クラスタープロジェクトの平成28年度の進捗状況と今後の展開

食品加工② 株式会社フードプラン、仁淀川町等を中心としたカット野菜事業クラスター(仁淀川町)

【H28の主な取組】
1次：県内既存農家との野菜取引増とあわせ、自社原料生産体制（営農・法人化等）を検討
2次：県内外の新たな取引に対応するほか、スーパー向け大手惣菜製造工場（立地予定）とのプレカト品取引についても商談を継続
3次：「おでん」のブランド化による入込観光客の増とあわせ、自社製造のおでんパック開発等を推進
クラスタープランを策定（H29.2月）
【今後の展開】県外量販店や大手惣菜製造工場との取引拡大とあわせ、加工・業務用野菜の産地形成を推進

農業⑦ 四万十ポークブランド推進プロジェクト(四万十町)

【H28の主な取組】
1次：豚舎の新設及び補修改修に着手
2次：四万十町内に加工・直販所を開業（4月）高知市内に飲食店2店舗を出店（5月、12月）
3次：加工・直販所及び飲食店売上高：67,225千円（1月末）
雇用者数 H27:1人 → H28:26人
クラスタープランを策定（H29.2月）
【今後の展開】年間出荷頭数の増加、営業活動等による販路の拡大

農業⑨ 四万十の栗プロジェクト(四万十町)

【H28の主な取組】
1次：H27:13ha、0.7t→H32:19ha、11.6tに拡大
2次：1次加工所の整備（H29.8月末完成予定）ペースト生産量：0t→9t、2次加工施設整備検討中
3次：地元関連事業者と連携し、観光分野の取り組み内容を協議
クラスタープランを策定（H29.1月）
【今後の展開】次世代団地の残さを堆肥化し、栗の生産に活用する体制づくり。加工施設整備の具体化検討。

農業① 四万十次世代モデルプロジェクト(四万十町)

【H28の主な取組】
1次：野菜苗の出荷開始(4月～)、トマトの出荷開始(9月～)、新たな雇用：約100名
2次：トマトジュースの試作品完成し、販売開始(2月) 新たな加工品開発に向けて検討を開始
3次：視察者等：約1,300名(2月末現在) 道の駅、直販所等との連携や観光分野等での可能性検討開始
クラスタープランを策定（H29.3月）
【今後の展開】バイオマスエネルギーの安定確保と培地・残さを有効活用できる体制づくり、加工への具体的取組検討

水産業① 幡多地域広域水産業クラスター(宿毛市、大月町、土佐清水市)

【H28の主な取組】
1次：クマガロ人工種苗生産技術が確立、水産試験場古満目分場を開設（10月）、クマガロ種苗の中間育成、養殖を手掛ける新法人が設立（2月）
2次：土佐清水メジカプロジェクト推進協議会が発足（5月）、養殖魚（ブリ）の前処理加工が進展（H27:約7万尾→H28:10万尾以上）
3次：宗田節をもっと知ってもらいたい委員会が空港等でPRイベントを実施（8、12月）、両地区での地域を主体としたプロモーション活動の体制づくりに着手
クラスタープランを策定（H29.3月見込み）
【今後の展開】クラスターの核となる施設整備やPRイベント活動等を支援

林業③ 佐川町で展開する自伐型林業での木材産業クラスター(佐川町)

【H28の主な取組】
1次：地域おこし協力隊（自伐）採用5人、町民向けの自伐型林業研修会実施、林業関連新規就業者6人、山林の集約化100ha
2次：地域おこし協力隊（ラボ）採用4人、ものづくりの拠点「さかわ発明ラボ」開所（4/1）、オープンラボ・ワークショップの開催
3次：道の駅検討委員会の開催
【今後の展開】森林長期施業管理契約締結の推進、地域おこし協力隊の採用・育成と自立化による自伐型林業のビジネスモデルづくり、地域おこし協力隊（発明職）の採用、さかわ発明ラボ事務所を移転しラボ機能を集約整備

農業⑧ いの町生姜生産・販売拡大プロジェクト(いの町)

【H28の主な取組】
1次：ショウガの生産拡大1,921a→2,012a(H29)、JA集出荷場の高度化・拡大(H29.10完成予定)
2次：ショウガパウダー、ガリ、ショウガ酢、ドリンク等加工品の生産強化と新商品の開発検討開始
3次：いの生姜焼き街道等の取組により地元飲食店との連携強化で観光面への波及効果アップを推進
H28参加店舗：18店舗
クラスタープランを策定（H29.1月）
【今後の展開】維新博イベント等でのショウガのスイーツ等販売検討

農業⑥ 嶺北畜産クラスターによる地域の活性化(嶺北地域)

【H28の主な取組】
1次：(株)いほく未来の土佐あかうし飼養頭数の増（H27:128頭→H28:176頭）、大川黒牛肥育牛舎完成（4月）、土佐はちきん地鶏育雛鶏舎完成（6月）
2次：土佐はちきん地鶏の食鳥処理・加工施設の整備に着手
3次：さめうら荘建設に向けた検討
クラスタープランを策定（H29.2月）
【今後の展開】土佐あかうし堆肥舎の整備、土佐はちきん地鶏の食鳥処理・加工施設の整備及び販売促進、さめうら荘実施設計

林業② 嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化(嶺北地域)

【H28の主な取組】
1次：森林組合支援チームによる事業体の強化、西峯スギコンテナ苗の生産(約17,600本)
2次：高知おおとよ製材(株)の本格稼働(雇用者総数 H28:50人)、ストックヤード造成工事着手(4月)、ばつむ合同会社における木工製品の製造施設増設(6月)
3次：集落活動センターいしはらの里における林業研修の実施(1月、3月)、木の文化を学ぶセミナーの開催(5回) 1～3次：嶺北広域原木安定供給協議会の設立(1月)
【今後の展開】原木の安定供給、木工品新工場整備、研修者確保対策

農業④ 日本一のニラ産地拡大プロジェクト(香南市、香美市)

【H28の主な取組】
1次：次世代型ハウス(56a)を含め、9戸、2.33haの生産拡大、自動そぐり機27台を整備(3月末)
2次：クラスタープロジェクトチーム、JA、ニラ部会で業務加工需要への対応強化、新たな加工品等の検討開始
3次：香南塩焼きそば等、地元飲食店とのコラボ等による消費拡大に向けた検討開始
クラスタープランを策定（H29.3月）
【今後の展開】さらなる生産拡大(12戸、1.95ha)、自動そぐり機5台整備(H29)

農業⑤ 日本一のナス産地拡大プロジェクト(安芸市)

【H28の主な取組】
1次：全農による次世代型ハウス(1ha)がH29.4月末完成予定、(株)アグリード土佐あき(23a)、安芸市サポートハウス(16a×2棟)、JAサポートハウス(16a)での栽培開始
2次、3次：道の駅大山の改修(H29予定)と併せ、観光面との連携を強化し、既存の「ナスのたたき」、「焼きナスアイス」、「ナスまん」等活用と、新メニューや加工・特産品の開発に向けた検討開始
クラスタープランを策定（H29.3月）
【今後の展開】維新博イベントと連携した消費拡大への取り組み検討

その他① 奈半利町の集落活動センターを中心としたクラスター(奈半利町)

【H28の主な取組】
1次：運営主体の(一社)なはりの郷が本格稼働(7月)、農作業受託の取組開始（12月～）
2次：農水産加工施設(奈半利のおかって・加領郷魚舎)のオープン(5月)、売上高(H28)：24,965千円(H29.2)
3次：物産館無花果の管理運営開始（7月）、奈半利町観光振興事業の実施(12月～)
【今後の展開】①奈半利町通販サイト（H29.3月～）を活用した販路拡大②就農研修住宅兼農業拠点施設の整備・活用による担い手の確保、農水産物や加工品の集出荷体制の強化（H29）



水産業② 中央地域広域水産業クラスター(高知市、土佐市、須崎市)

【H28の主な取組】
1次：民間企業が野見湾でのマダイ養殖への参入の検討を開始（9月）
2次：宇佐もん工房が加工施設を増設し、ウルメの加工能力を増強（3月）
3次：浦ノ内湾釣筏渡船振興会が発足し、ファミリー層などの新たな顧客の開拓に向けた取り組みを開始（6月）
【今後の展開】市町村によるクラスタープラン策定を支援

その他② 竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出(高知市土佐山地区)

【H28の主な取組】
1次：竹材の集荷（(同)高知竹材センター）竹持込参加者数（団体含む）H27:0→H28:13
2次：自動車用竹ハンドル素材、集成材、ブラシ用柄等竹製品の加工及び商品開発（1次加工(同)高知竹材センター、2次加工(株)コスモ工房）
3次：製品に応じた販路の開拓（(株)コスモ工房）
【今後の展開】
・(同)高知竹材センターの集荷体制の充実
・竹プランのラインナップの拡充及びタグ貼り等ブラシ会社から(株)コスモ工房への一部業務の移管

林業① 林業・木材産業クラスタープロジェクト(県内一円)

【H28の主な取組】
1次：集材工場の整備(10月)、発電用燃料供給のためのチップ加工施設の整備(11月)、コンテナ苗生産施設の整備(3月)
・加工施設における新規雇用者数 H28:19人
2次：CLTパネル工場の立地に向けた情報収集、低層非住宅の木造化に向けた新製品の試験を実施
【今後の展開】製材事業者の事業戦略づくりによる経営力の向上、CLTを含めた木材需要の拡大、林道整備の促進による原木生産の拡大

食品加工① JAグループ・流通事業者等による加工・業務用野菜の産地化プロジェクト(県内一円)

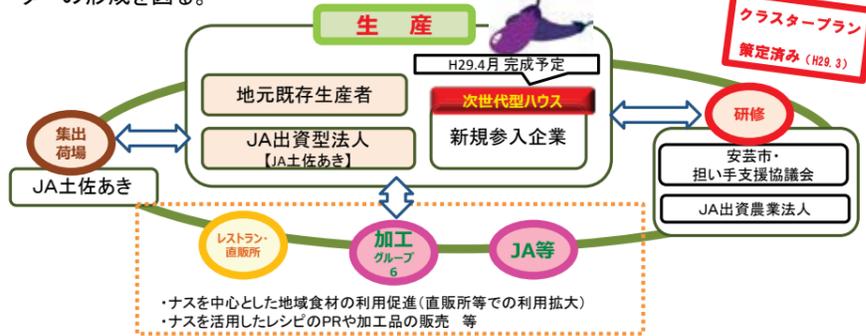
【H28の主な取組】
1次：試験栽培品目を決定し、試験栽培及び試験出荷・販売を実施（ジャガイモ、ダイコン、ニンジン）
2次：中間事業者及び一次加工事業者の視察調査の実施、販売先となる企業の掘り起こし（企業訪問の実施）
【今後の展開】栽培品目を拡大（キャベツ、リーフレタスを追加）し、栽培地域の拡大推進に取り組むとともに、加工施設の誘致や企業の掘り起こしを推進

地域産業クラスターの形成（展開図） ①

【安芸地域】

日本一のナス産地拡大プロジェクト(安芸市)

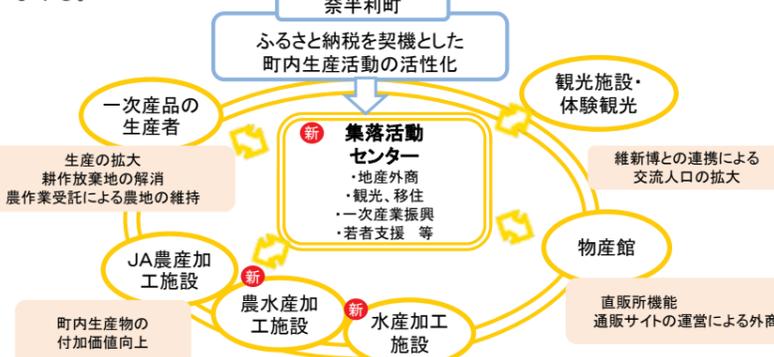
・県東部の基幹品目であるナスの生産拡大を図るとともに、地域の直販所や飲食店等での利用促進、ナス料理や加工・特産品の消費拡大に取り組むことにより、クラスターの形成を図る。



・ナスを中心とした地域食材の利用促進(直販所等での利用拡大)
・ナスを活用したレシピのPRや加工品の販売等

奈半利町の集落活動センターを中心としたクラスター(奈半利町)

・集落活動センターを拠点として、奈半利ブランドの確立と地域の所得向上につなげる。

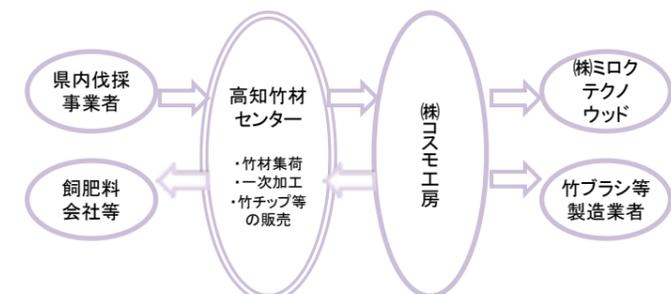


(注) 図中の点線で囲んでいる部分は想定です。実現に向けて、生産者団体や事業者、市町村等の関係者の皆様と検討を重ねていきます。

【高知市地域】

竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出(高知市)

・県産竹材を活用した製品加工の拡大とともに、竹材の集荷や一次加工、竹チップの販売など竹資源を活用した新たな事業展開を図る。

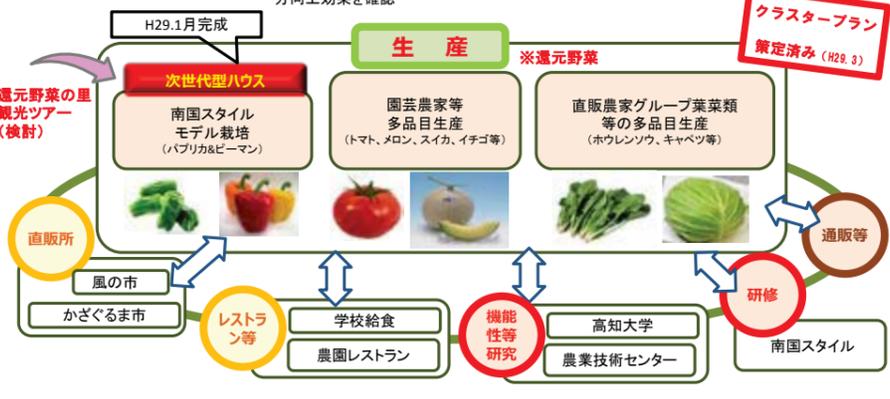


【物部川地域】

南国市還元野菜プロジェクト(南国市)

・JA出資型法人「南国スタイル」を中心として、「還元野菜(※)」の生産拡大を図るとともに、関連する直販所や農園レストラン等と連携した還元野菜販売や、メニュー提案等を実施することにより、還元野菜の里づくりを目指す。

(※)電界水素水を使って栽培した野菜のこと。電界水素水は、葉菜類で生育促進効果(収量5~20%UP)あり、さらに葉菜類、果菜類等で抗酸化機能等の機能性成分向上効果を確認



日本一のニラ産地拡大プロジェクト(香南市・香美市)

・日本一の生産量を誇るJA土佐香美の生産拡大を目指し、3つの生産拡大プロジェクトに取り組むとともに、食品関連会社等の誘致を視野に入れた新たな加工品の開発、地元飲食店でのメニュー開発等により、クラスターの形成を図る。



【仁淀川地域】

日高村トマト産地拡大プロジェクト(日高村)

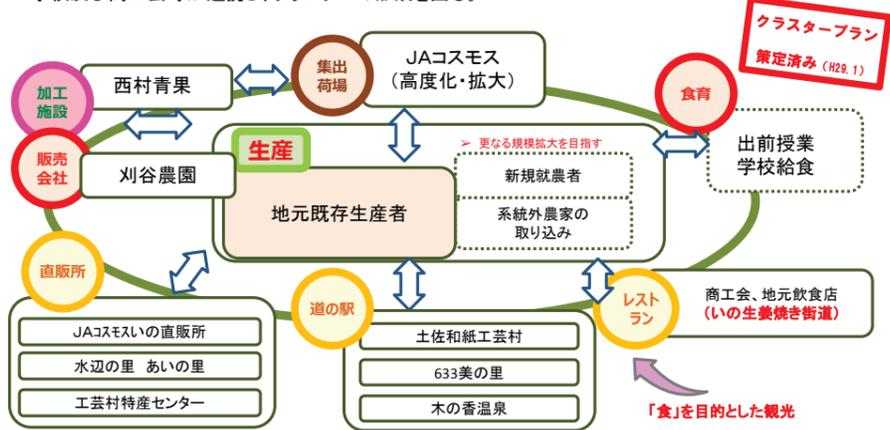
・日高トマト生産団地の拡大の取り組みを核として、中山間複合経営拠点(※)の整備とも併せ、関連するJA出荷場、農産品加工施設、直販所、地元レストラン等と連携し、クラスターの形成を図る。

(※)出資型法人等が、高収益の施設園芸や中山間地域に適した農産物の生産、作業受託による地域営農の維持活動等、複合経営を行い、中山間地域の農業の競争力を高め、支える仕組み



いの町生姜生産・販売拡大プロジェクト(いの町) NEW

・いの町の生姜生産農家を中心として、生姜の集出荷場整備と併せ、地元加工業者や直販所、道の駅、学校及び商工会等が連携し、クラスターの形成を図る。



佐川町で展開する自伐型林業での木材産業クラスター(佐川町)

・自伐型林業の取り組みを中心に、担い手の育成確保を含めた自伐型林業のビジネスモデルづくりのほか、町産材等を使ったモノづくりの人材育成や拠点整備、道の駅等の整備により町内の6次産業化を進める。



株式会社フードプラン、仁淀川町等を中心としたカット野菜事業クラスター(仁淀川町)

・新工場整備によって生産能力を向上させ、県外量販店や大手惣菜製造工場との取引拡大を図る。あわせて、流域食材のブランド化による観光振興、加工・業務用野菜の産地形成を推進する。



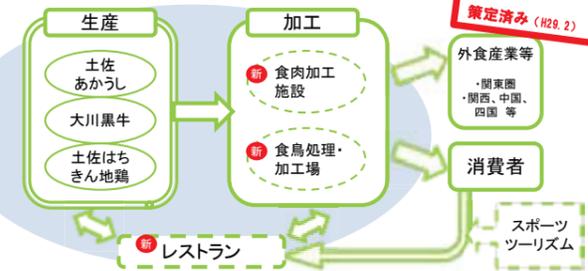
地域産業クラスターの形成（展開図）②

(注) 図中の点線で囲んでいる部分は想定です。実現に向けて、生産者団体や事業者、市町村等の関係者の皆様と検討を重ねていきます。

【嶺北地域】

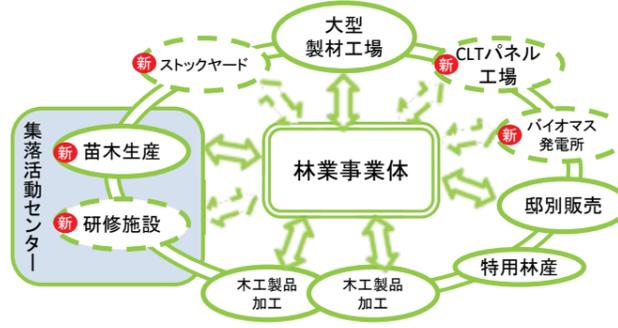
嶺北畜産クラスターによる地域の活性化（嶺北地域全域）

・「土佐あかうし」「大川黒牛」「土佐はちきん地鶏」のさらなる生産拡大と6次産業化による付加価値の向上を図る。また、さめうら湖や山岳資源を活用したスポーツツーリズムにより観光振興・交流人口の拡大を図りながら、レストラン事業の展開も検討する。



嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化（嶺北地域全域）

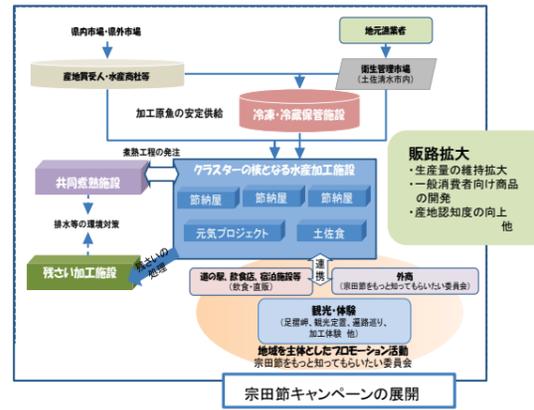
・嶺北地域の豊富な森林資源を余すところなく活用し、地域経済の活性化につなげる。



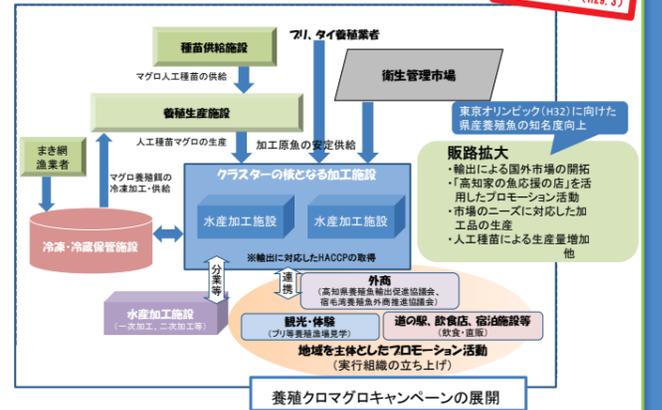
【幡多地域】

幡多地域広域水産業プロジェクト（土佐清水市・宿毛市・大月町）

メジカ産業クラスター



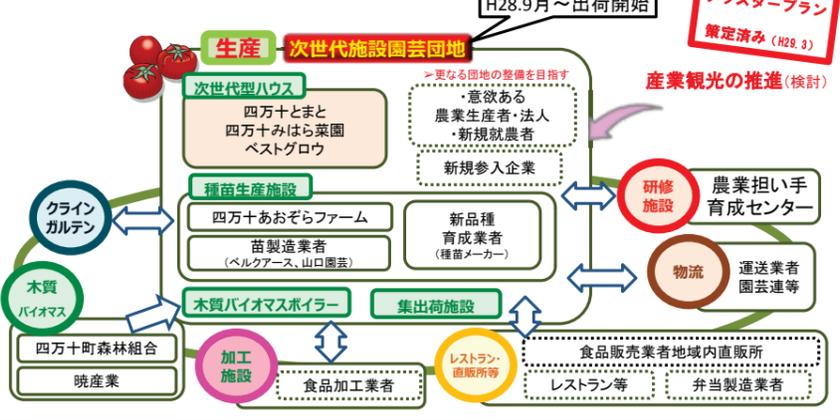
宿毛湾養殖クラスター



【高幡地域】

四万十次世代モデルプロジェクト（四万十町）

・次世代施設園芸団地でのトマト生産を核として、バイオマス供給施設、種苗供給施設、農産品加工・販売業者、地元レストラン等が連携し、クラスターの形成を図る。



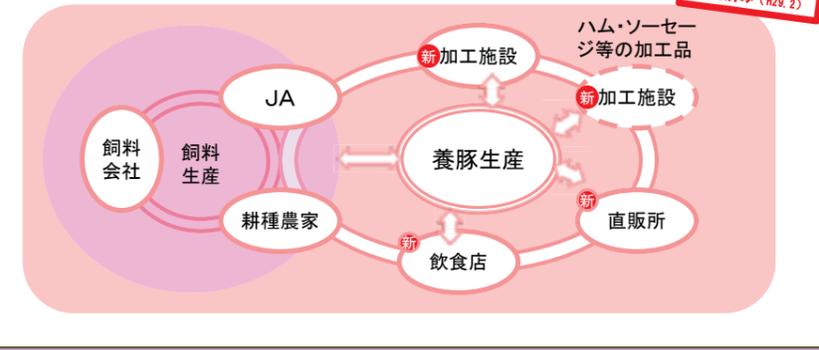
四万十の栗プロジェクト（四万十町） NEW

・四万十の栗再生プロジェクト協議会を中心として栗の生産拡大を図るとともに、ペースト加工施設、カフェ、栗焼酎販売会社等が連携し、クラスターの形成を図る。



四万十ポークブランド推進プロジェクト（四万十町）

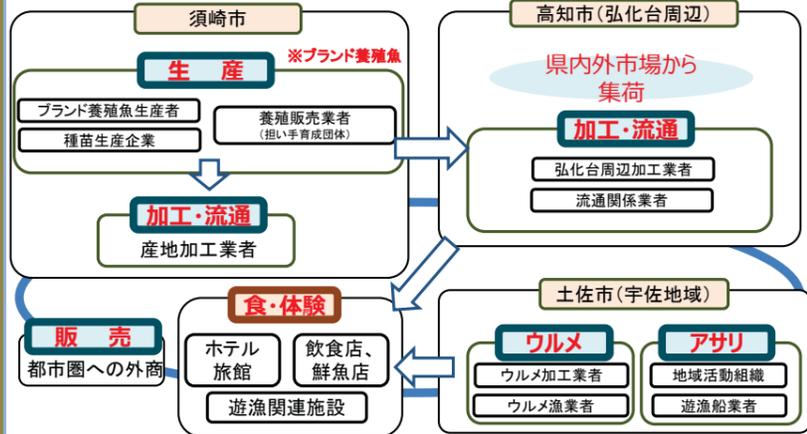
・養豚農家の生産基盤の強化を図るとともに、関係機関が連携し安心安全な四万十ポークを消費者に安定供給できる体制を構築し、新たな6次産業化ビジネスの展開とあわせて地域の所得向上につなげる。



【複数地域】

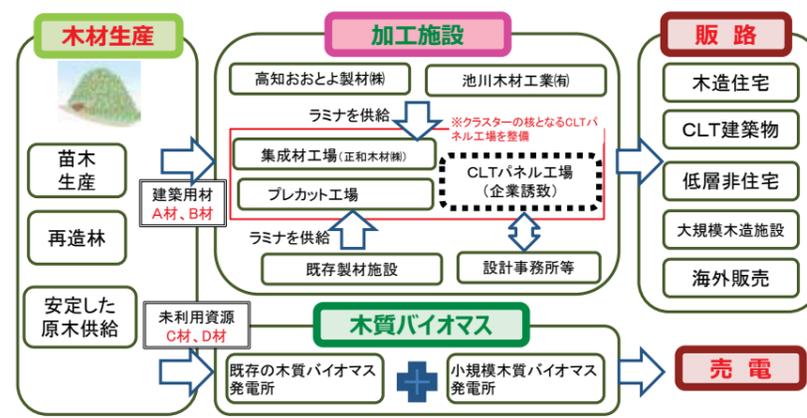
水産業中央地域広域展開プロジェクト（高知市・土佐市・須崎市）

・ブランド養殖魚の産地機能と、弘化台周辺の集荷・加工機能を生かしたクラスターの形成を図る。



林業・木材産業クラスタープロジェクト（県下一円）

・木材加工を核として、木材生産から販売・再生産までの好循環を生み出す。



JAグループ・流通事業者による加工・業務用野菜の産地化プロジェクト（県下一円）

・需要が増加傾向にある「加工・業務用野菜」の産地化を進め、マーケットイン型の商品開発や「生産・加工・流通・販売」までの新たな仕組みの構築に取り組む。

